

学校評価シート（学校関係者評価）

（評価対象年度：令和5年度）

令和6年2月26日（月）10:00～11:30

出席者

評価委員：小学校長1名 自治会長1名 保護者代表1名
園長 副主任（計5名）

1. 自己評価で設定した目標・計画、評価項目の設定は適切であったか

適切である。

「心をつなぐ歌声のひびく幼稚園」という園の目標がわかりやすく、園の特色がでていることはよい。

2. 評価結果の内容は適切であったか

適切である。

3. 今後取り組むべき課題は適切に設定されているか

設定されている。

年度末の評価は、次年度に生かすことが時間的にむずかしいので、中間で（夏ころ）評価を行い、次年度に生かしていくやり方も必要と感じる。

4. 今後取り組むべき課題は適切に行われているか

特別な配慮が必要な子どもが増えており、個に応じた教育がさらに求められている。

保護者の願いに柔軟に対応している。

地域では外国籍の方が増え国際化が求められており、幼稚園でも一考の必要がある。

5. その他の意見・感想等

多様な園児がいる中で、保育者が子ども達と良くかかわっており対応している。

幼保小連携の一環として、幼稚園と小学校の交流を持てるようにしたい。

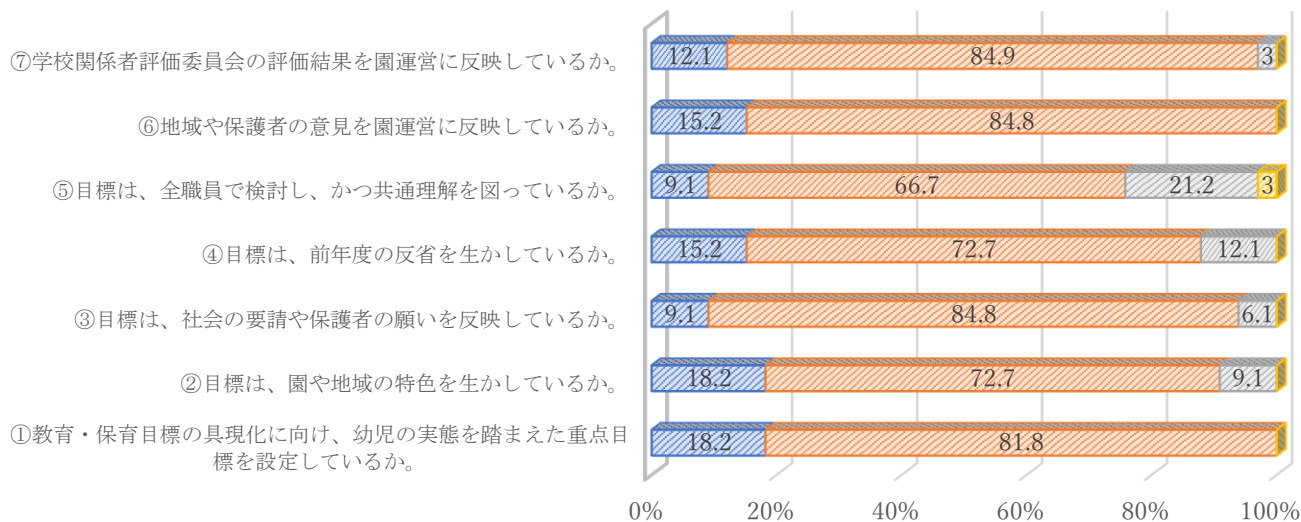
自治会の行事に協力してもらっており、感謝している。

記載責任者 霞ヶ関幼稚園園長 小川直美

A:よくできている B:ほぼできている C:あまりできていない D:できていない

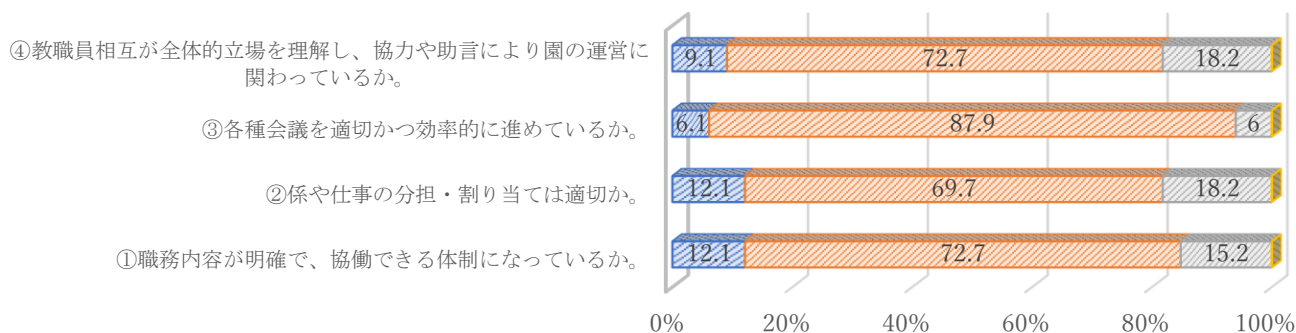
教育目標・学校評価

■ 評価 A:よくできている ■ 評価 B:ほぼできている ■ 評価 C:あまりできていない ■ 評価 D:できていない



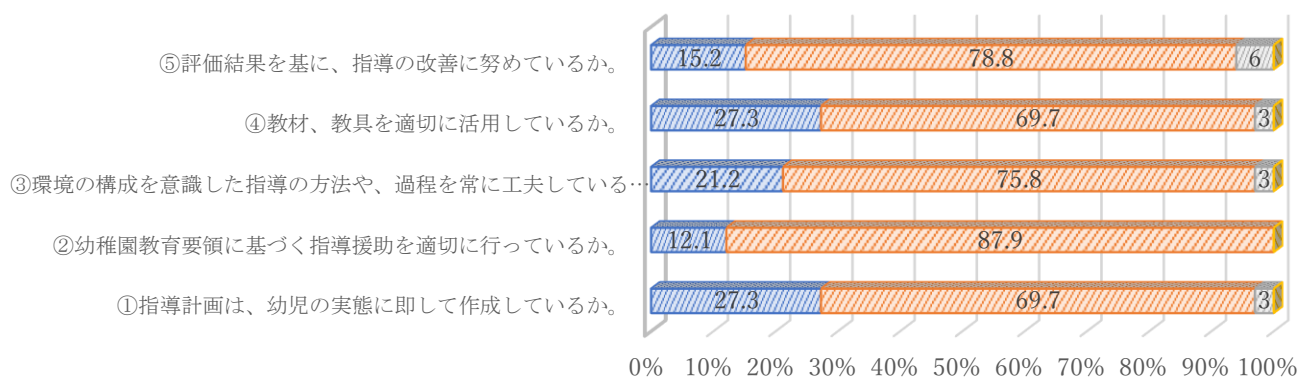
組織運営

■ 評価 A ■ 評価 B ■ 評価 C ■ 評価 D



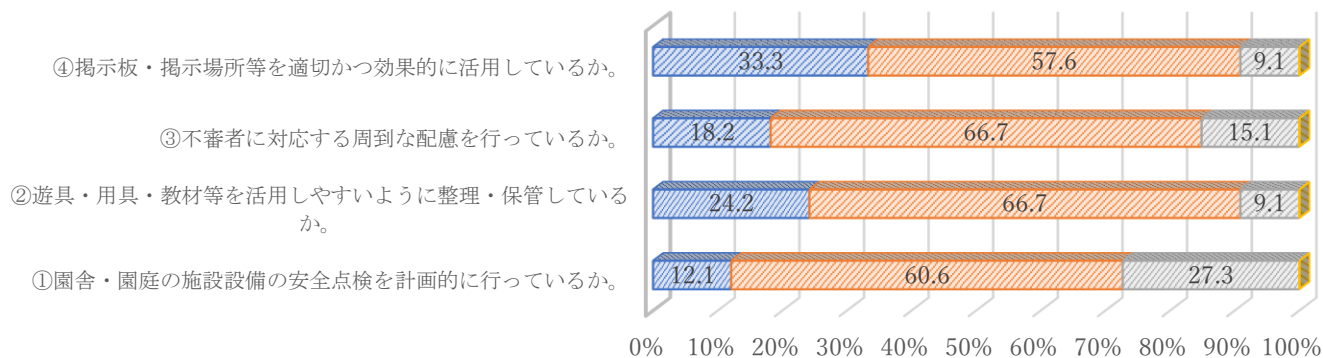
教育課程・指導

■ 評価 A ■ 評価 B ■ 評価 C ■ 評価 D



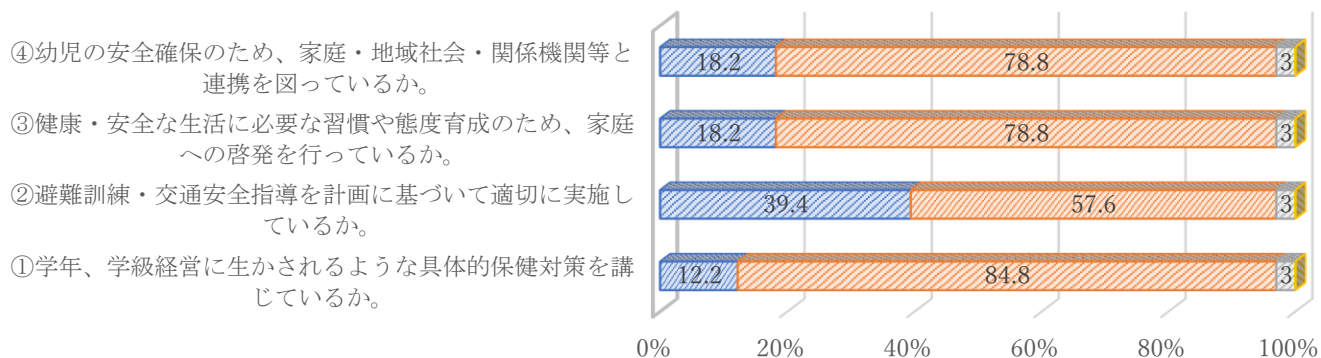
教育環境整備

■ 評価 A ■ 評価 B ■ 評価 C ■ 評価 D



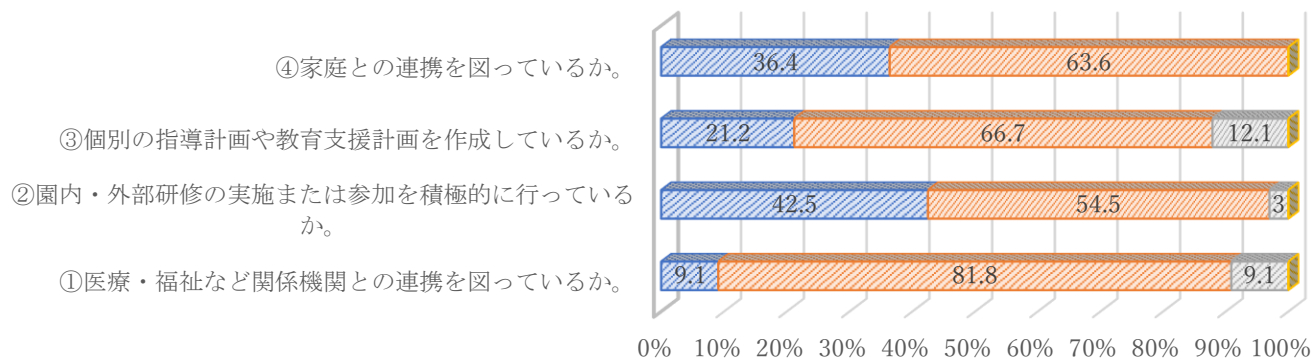
保健・安全指導

■ 評価 A ■ 評価 B ■ 評価 C ■ 評価 D



特別支援教育

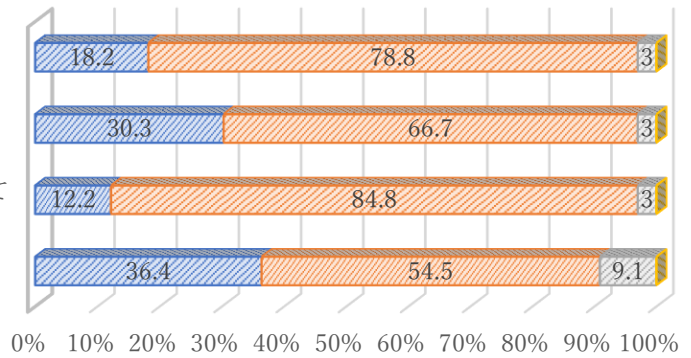
■ 評価 A ■ 評価 B ■ 評価 C ■ 評価 D



研修（資質向上の取組）

■ 評価 A ■ 評価 B ■ 評価 C ■ 評価 D

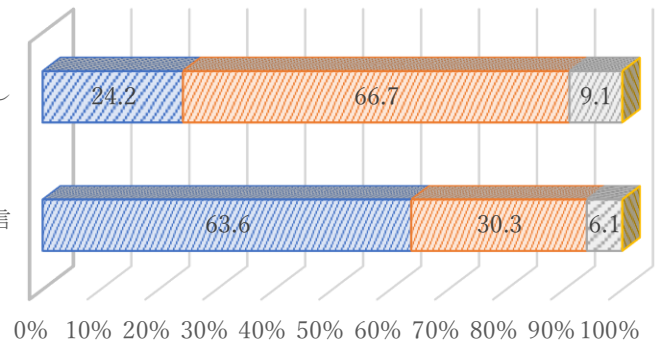
- ④ 各種研修会、講習会の内容を園内に還元しているか。
- ③ 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。
- ② 研修の成果が日常の保育に生かし、幼児の育ちに反映されているか。
- ① 園内研修が計画され、適切に運営しているか。



情報提供

■ 評価 A ■ 評価 B ■ 評価 C ■ 評価 D

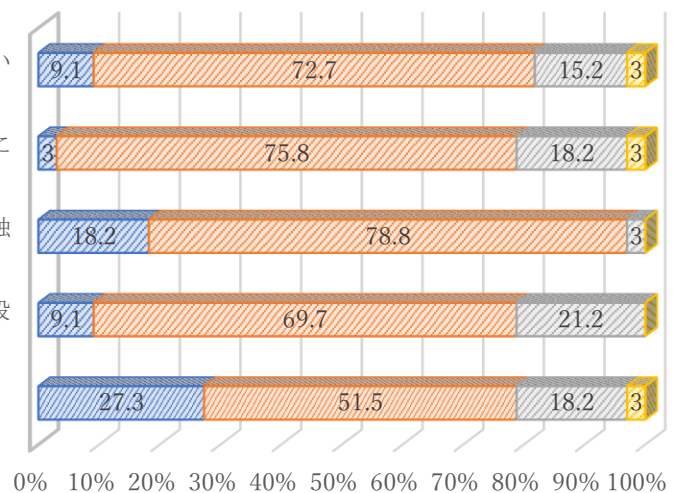
- ② 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や他校種に対して周知しているか。
- ① 園だより・学級通信・ホームページ等で園の情報を発信しているか。



保護者・地域住民との連携

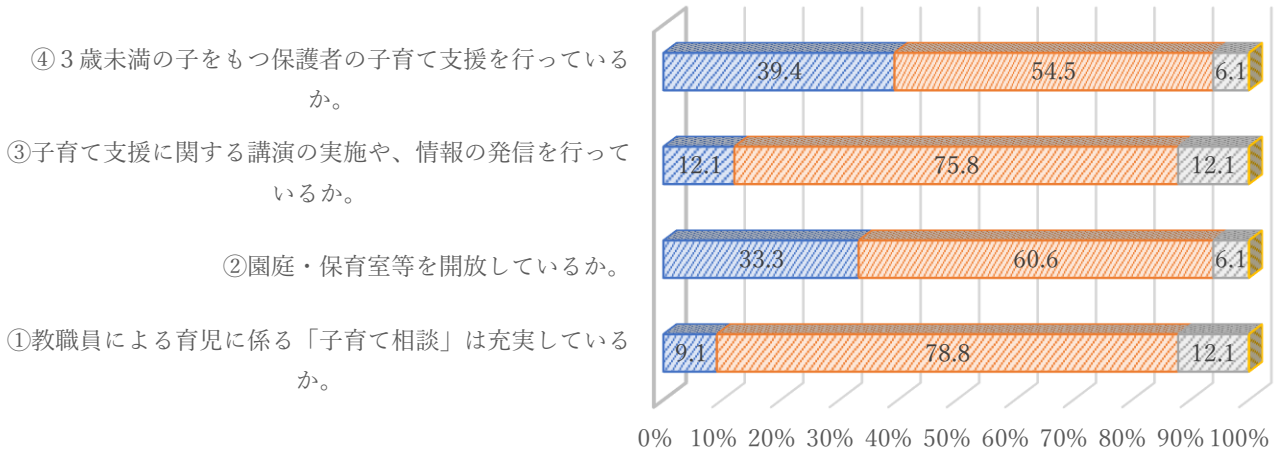
■ 評価 A ■ 評価 B ■ 評価 C ■ 評価 D

- ⑤ 日常的に情報を交換し、それを交流活動に活かしているか。
- ④ 他校種との年間交流計画は、教育・保育目標や課題に添ったものになっているか。
- ③ 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。
- ② 幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。
- ① 保護者以外にも対象にした参観日等を設定しているか。



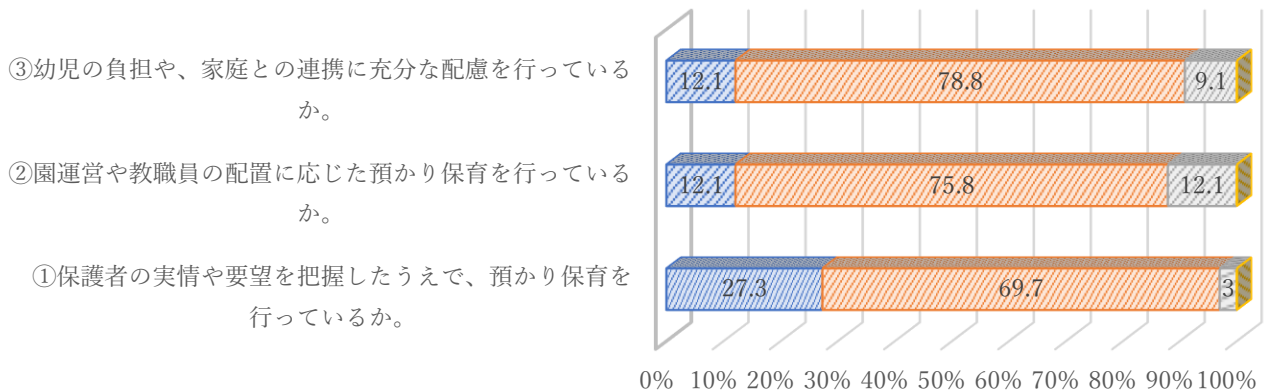
子育て支援

■ 評価 A ■ 評価 B ■ 評価 C ■ 評価 D



預かり保育

■ 評価 A ■ 評価 B ■ 評価 C ■ 評価 D



記述(抜粋:主なもの)

○保護者対応が難しい場面もあるが、園の方針を再度、共通理解しはっきりと伝えられるようにしたい。

○人的な職場環境には恵まれ本当に有り難いと思う。

○全教職員が視野を広げ 子どもの安全を守り保育にあたること。そして日々の掃除 またはゴミが落ちていたら拾うなど園内をきれいにしていく意識を高さらにめられたら良いと思う。

○預かり保育には、担任のサポートも必要である。学年の半分が夕方まで残る中、日中とは違う大変さがある。互いの仕事内容を理解し、自然な形で協力体制が取れるようにしたい。

○行事も多く、その取り組みの時間も多いが、自由な戸外遊びの時間も確保したい。

○コロナが落ち着き、地域との交流ができたことは、子どもたちにとって良い経験になっていた。

(花の日礼拝、夏祭りへの参加)

まとめ・考察

グラフの集計を昨年度のものと比較すると、A（よくできている）の評価が下がり、B（ほぼできている）が上がっている。

また、教育課程・指導の項目も大幅にAが下がっており、かなり気になるところである。

この仕事の根幹をなすところであるので、自己評価が厳しくなり目標が高くなったということならば喜ばしいところであるが、多忙で日々の保育内容の準備、質の向上に時間を費やせなくなったということがなければと考える。

そのことに関連し、研修の「①園内研修が計画され、適切に運営している」の項目が、唯一A評価が3パーセント上がっていることは喜ばしく思う。

先生方の得意分野を生かした研修の実施が功を奏したのであろうか。

研修には、キャリアアップ、園内研修（AED、先生方が講師となる研修、ワタナベ学園の研修（夏期・冬期のテーマ研修）、自己研修（資質向上のための）、保育計画に基づく保育にかかわる直接の教材研修等々様々なものが含まれ、どれも大切なものでバランスよく進めたい。

また、「子育て支援」は、園児募集にかかわり重要な取組であるが、A評価が昨年度よりかなり下がっている。毎年充実を図っており、保護者からも好評であるにもかかわらず、全職員に理解されていないという見方もできる。

まとめとして、今後の課題としては、多忙な日々ではあるが、さらなる教育内容の質の向上をめざし、令和5年度の反省を生かし、次年度に向け全教職員で力を合わせ希望をもって準備を進めていきたいと思う。

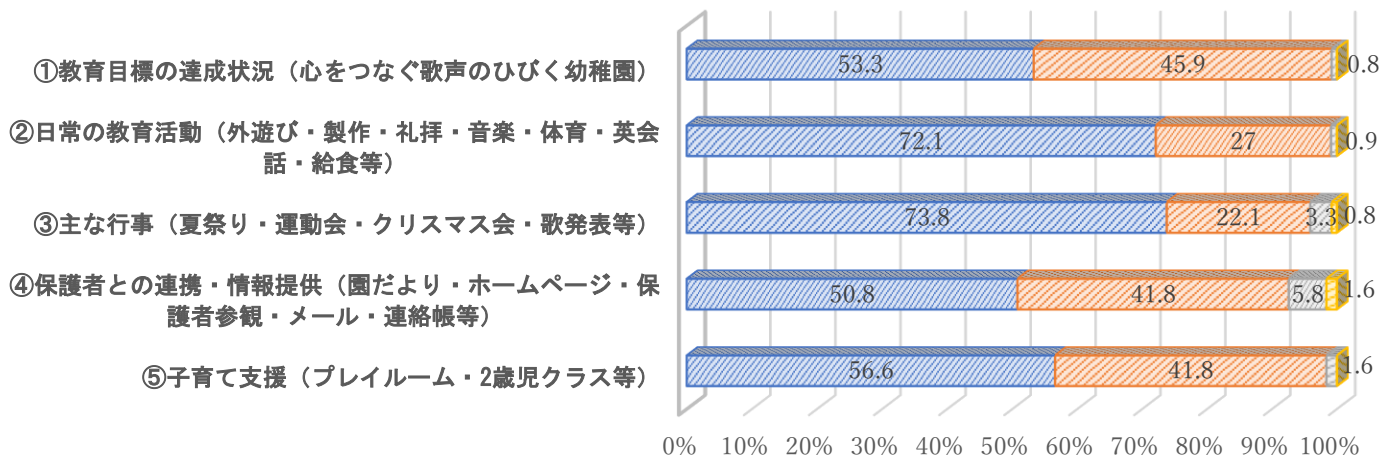
細かいところに気づき改善することも必要、しかしながら細かいところのみ見ていると大きな流れを見失ってしまう場合もある。

小さなところまでしっかりと見つめる目を大切にしながら、大きな心で、教職員お互いのよさを認め合いながら前に進んでいくことを目指していきます。

令和5年度 保護者アンケートまとめ

保護者アンケート 家庭数（回収率 84 パーセント）

■ 評価 A：よくできている ■ 評価 B：ほぼできている ■ 評価 C：あまりできていない ■ 評価 D：できていない



記述(主なもの抜粋)

- 担任の先生方は子供達をよく見てくださり、とても感謝している。
- 連絡ノートで普段の生活でちょっとした報告があったときに付箋を貼って教えてくれる保護者への気遣いは流石。
- ぴよんぴよん(子育てサロン)の親子の数が行くたびに増えてみんな楽しそうだった。
- 制作内容のレベルの高さと幅広さは、抜きん出ていると思う。
- 毎日子どもが幼稚園楽しいと色々な話をしてくれ、少しずつ出来る事が増え、とても感謝しております。
- 仕事復帰後、16時半以降の迎えになった時の担任とのやり取りの手段が週1日でも欲しい。(母親との)
- 感染症など1人でも出た時点で知らせて欲しい。(病院にかかる際に園で流行ってるものなど伝えられない)
- 平日は仕事があるので行事はなるべく土日にしていただきたいです。(今年度の作品展)
- 毎月の園だよりや献立表をもう少し早く配布して頂けると助かります。

まとめ・考察

今年度の保護者アンケートは、すべての項目が昨年度とほぼ同じパーセンテージでAとBを合わせると9割以上の結果となりました。記述では、様々な保護者のお考えを知ることができました。

多くの貴重なご意見をいただいたことに感謝し、園として、子どもの安全と成長を最優先に「次年度に生かしていくこと」「今後考慮していくこと」「今の時点では対応がむずかしいこと」等に分けて全職員で考えていきたいと思えます。

保護者の声を聞くことは非常に大切で、そのことが子育て支援となっています。

しかしながら、一人の大きな声だけに振り回されることなく、その裏に声を上げなくても10人以上の園への応援団がいることを信じて日々の保育にあたっていきたいと思えます。